

豊かな自然環境を守る

地域からもアドバイザー 迎えホタルプロジェクト

大牟田・高取小

地域の豊かな自然を守る
うと、大牟田市高取小学校

5年生の活動が新聞に載りました

火曜日に行った「第一回ホタルプロジェクト会議」の様子です。
何よりも

- ・「これから続いていくこと」
 - ・「地域の皆さんと一緒に」
- という活動であることが着目されたことと思います。
これからの活動が楽しみです。

また、新聞記事の書き方としても★国語の学習にも使えるかもしれませぬ。

(古庄健次校長)の5年生が進めるホタルプロジェクトの第1回会議が11日、同校で開かれた。ESD(持続可能な開発のための教育)の一環で、ホタルに特化した1年にわたる環境保全活動を実践。川や校区の清掃・調査などについてグループごとに発表し、地域や市役所からのアドバイスを受けた。

同校は高取山や長溝川などの自然に囲まれ、ホタルの観賞スポットもある。例年、5年生は環境保全活動に取り組み、地域と連携した清掃などの実践をしている。今年5月末にホタルの観賞も経験して会議を開催し、市役所や三池地区公民館、地域の代表、生物愛



ホタルプロジェクト会議で発表する高取小児童

好会のメンバーをアドバイザーに迎えた。

児童たちは「川や校区の清掃・調査」「カワフナを育てる・守る」「ホタルの道づくり」などをテーマに発表。「川の清掃に協力していただきたい」「ホタルのいる場所マップづくりに協力」と要望を伝えたり、「水質検査はどのようにしたらよいか」「校区の中で、ホタルのたくさんいる場所は」と質問した。

アドバイザーは、看板や地区館の掲示板を使ったPR、新聞社への記事掲載依

頼など提案しながら回答するとともに「6年生になったら引き継ぐことが大事。せっかく時間を割き、立てた立派な計画。みんなで心を持てるように」「地域の皆さんと一緒に」という気持ちは素晴らしいこと。持ち続けて活動を」と助言。児童たちが聞き入った。

今後、アドバイスを生かしてプロジェクトを進め、10月に2回目の会議を実施。来年2月に学習発表を予定している。

(高田 裕子)